

みんなの図書館

発行日 令和6年6月19日(水) (年4回発行)

第73号



発行者 木更津市立図書館
木更津市文京2-6-51
TEL 0438-22-3190
FAX 0438-22-7509

令和6年3月末で松本前館長が異動となり、4月からは北村館長が着任しました。松本前館長、1年間ありがとうございました。

北村館長の下、引き続きみなさんに親しんでもらえるやさしい図書館を目指してまいります。



ごあいさつ 館長 北村 晴美

令和6年4月1日付けの人事異動により、図書館長に就任いたしました。

子どもの頃は推理小説を寝る前に読むのが習慣で、図書館にはだいぶお世話になったものです。高校生になると自習に通い、社会人になると料理本や旅行の本を手にとることもありました。最近はその機会が減っておりました。

しかし、今、図書館の中を隈なく歩いてみると、あらゆるジャンルの本が配置されていることを再認識し、知的好奇心が刺激され、わくわくしております。

さて、令和3年1月から電子図書サービスが始まり、令和5年度末の蔵書数は14,348タイトルと徐々に増えております。紙の図書とともに、お手軽な電子図書もおすすめです。拡大機能や読み上げ機能もあり便利です。電子図書の専用パスワードをお持ちでない方は、この機会にぜひご登録ください。(ただし、電子図書サービスは市内在住・在勤・在学の方のみ対象となっております。)

なお、4月11日から図書館のサーバー停止のため、蔵書検索サイトがご利用できず、皆様にはご不便をおかけしており、大変申し訳ございません。7月中の復旧を目指しておりますので、もう少しお待ちくださいますようお願いいたします。

木更津市立図書館は昭和4年に開設され、本年、図書館開館95周年を迎えます。市の公共施設の中でも、図書館は市民の皆様に近い存在であるということを改めて感じております。引き続き、赤ちゃんから高齢の方まで皆様に寄り添った図書館となるよう努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

木更津市立図書館 開館95周年！

祝



館長からの挨拶にもありましたが、なんと今年は、木更津市立図書館が開館して95周年です！今年は、記念講演会を行うほか、前年度坂井昭さんより寄贈頂いた絵葉書や、昭和の時代にハーベイ M ギルモアさんより寄贈頂いたたくさんのたぬきたちの展示を行う予定です。みなさん楽しみにしててくださいね！



図書館 WEB 検索サイトなどを停止しています

既にご存じの方も多くいらっしゃるかと思いますが、現在、図書館 Web 検索サイトについては、図書館を装ったスパムメール(受信者の意向を無視して一方的に繰り返し送られる迷惑メールのこと)が送信されていることが判明したため、原因究明と安全対策を講じるまでの間、サービスの一部を停止しています。



停止しているサービス

- ① Web での本の検索・予約・貸出期間の延長(検索ページ・マイページの使用停止)
- ② 図書館からの今までと同じアドレスからのメール連絡
(予約された図書が用意された連絡など)
- ③ 図書館2階に設置の、インターネット閲覧用パソコンの利用
(ヨミダス等データベースの利用も含む)



継続しているサービス

- ① 図書館内での貸出・返却・予約・延長等の通常どおりのサービス
- ② 図書館内での蔵書検索・予約
- ③ 電話での本の予約・延長・予約された図書が用意されたなどの連絡
- ④ 電子図書の閲覧・貸出

電子図書は変わらず
利用できます!



代替サービス

- ① Web での蔵書検索サイトで公開していた「新着図書一覧」及び「予約の多い図書一覧」は、図書館ホームページでリストを公開します。(週 1 回更新)
- ② Web での予約は LoGo フォーム(オンライン申請)での受付をします。
- ③ 予約資料確保のメール連絡につきましては、従来とは別のメールアドレスから連絡します。

新着図書一覧
・予約の多い図書一覧
公開 WEB ページ



予約・リクエストフォーム
(WEB 検索サイト停止中
のみ利用可能)



ご不便をおかけし申し訳ありません。現在、セキュリティを高めたシステムの再構成を行っており、7月中のWEB サイト再開を予定しています。

引き続きご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

《レファレンス・トリビア》

★「レファレンス」とは情報を求めている利用者に対し、図書館員が提供する個人的援助を言い、貸出と並んで図書館サービスの中心となる業務です。

R010/ト 「図書館用語集 3訂版」 日本図書館協会用語委員会 // 編

Q 辞書『漢字源 改訂第五版』(学研教育出版 2011)の「親字」(見出しの最初の大字)と「筆順」の字とでは、字体が違う。どうしてなのか。

A 例えば、「心」という字。親字は、「心」という字体なのに、その隣にある筆順は「心」となっていて、字体が異なります。他の漢字では、字体の違いがあまり分からないものもありますが、「心」では明白です。恥ずかしながら、これまで全く気付きませんでした。

早速、調査にかかります。まずは、『漢字源』を読み直すことから始めます。何か理由が書かれていないかしら・・・すると、7頁から始まる「この辞書の使い方」の字体・字形の説明の中に、「常用漢字は、『改定常用漢字表』に示された字体によった」(p9)という記載がありました。そこで、今度は『改定常用漢字表』を開いてみます。

『改定常用漢字表』の本表 76 頁に「心」が載っています。確かに『漢字源』の親字と全く同じ字体です。そして、この字体は、具体的には「明朝体のうちの一種」であるようです。

それでは、筆順の「心」はどうでしょう。又、『漢字源』に戻ります。筆順については、8 頁に『学習指導要領』に示された書体(教科書体)に準じて・・・と記されています。「心」は、小学校で習う漢字ですので、今度は『小学校学習指導要領』を開きます。

『小学校学習指導要領』53 頁の2学年の漢字配当表に、確かに「心」と書かれています。なるほど、この字体は、教科書でおなじみの「教科書体」なのですね！この字体に、どこか懐かしさを感じていた訳が分かりました・・・つまり、親字は明朝体、筆順は教科書体ですので、字体が異なるということです。

調べていく過程で分かったのは、一口に明朝体といっても、実は様々なデザインがあり、それによって字形が異なる場合もあるということでした。例えば、「八」と「八」のように、筆抑えが有る場合と無い場合など、本当はどちらの字が正しいのだろうと、疑問に思うことはありませんか。そのような違いは、単にデザインの差による違いですので、どちらも正しいと考えて良いようです。

また、筆順を教科書体に行っていることについても、新たな発見がありました。教科書体というのは、いわゆる「毛筆による手書きの楷書風書体」(『漢字百科大事典』より)。この書体を筆順に使っているのは、漢字を手で書くことの重要性が、意識されているからです。『改定常用漢字表』には、平成 14 年度に文化庁が実施した、「国語に関する世論調査」についての記載がありました。それによると、調査対象の 73%に当たる人々が、漢字を習得する上で一番役立つことのひとつに、「何でも手で書くこと」を挙げているそうです。

漢字文化の大切さと、奥深さが身に染みたレファレンスでした。

図書館員 ヒロ

<参考図書>

『改定常用漢字表 平成22年6月7日』 文化審議会 2010

『平成20年版 小学校学習指導要領』 寺崎千秋 // 編 明治図書出版 2008

『漢字百科大事典』 佐藤喜代治 // [ほか]編集 明治書院 1996

夏の図書館行事予定

今年も夏のイベントがやってくる！
それぞれ詳しくは、今後図書館ホームページや、館内チラシなどでお知らせしますので、そちらをご確認ください。

○夏休み企画 図書館を楽しもうよ！

- ・ 工作教室 図書館には工作の本がたくさん！まずはいっしょにつくってみよう！
7/28 (日) ① 13:30～14:30 作ってあそぼう！紙皿ヨーヨー (小学1～3年生対象)
② 15:00～16:00 作ってあそぼう！飛び出す絵 (小学4～6年生対象)



- ・ 一日図書館員体験 いろいろな図書館の仕事を体験しよう！
① 7/31 (水) ② 8/7 (水) 各日 10:00～15:00 (小学5・6年生対象)

- ・ こわ～いおはなし会 暑い夏、ちょっとこわ～いおはなしでひんやり。
8/8 (木) ① 15:50～16:10 ② 16:15～16:35 (小学生対象)



- ボランティア講座「点字教室」 点字ってどう読むんだろう？基本から学ぶことができます。
7/27 (土) 13:00～16:30 (中学生以上対象)

- 大人のためのおはなし会 大人も楽しめる“素話”、ぜひ聞いてみませんか？
8/25 (日) 14:30～16:00 (10歳以上対象)



木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）が策定されました



令和6年3月に、木更津飛行場周辺まちづくり実施計画(吾妻公園)が策定されました。これにより、吾妻公園に整備される文化芸術施設の中に図書館も構成されることとなりました。具体的な内容については、今後みなさんにお知らせしていくとともに、新たな図書館をつくっていくにあたり、みなさんのご意見を伺う機会を設ける予定です。なお、実施計画・実施計画【概要版】については、印刷したものを図書館内に置いておりますので、ぜひご覧ください。

開館95周年記念 ～木更津の絵葉書をご紹介します～



木更津翠江園

大正～昭和の頃、現在の成就寺の南側あたり、矢那川沿いにあった庭園です。資料によって「翠光園」「翠紅園」など記載が異なっているのが見られます。中央には池があり、菖蒲や藤で囲われ、晩春～初夏にかけて特に美しかったようです。個人所有ながら随時公開していたとのことで、ちょうど今頃の時期、人々は綺麗な花を見に集まったのかもしれない。

編集後記

今回より編集担当となりました。見やすかつぱりお届けできるよう頑張ります。(N)
枇杷の木の枝にとまって、小首をかしげるスズメ。今年の実は、ちよっぴり酸っぱいようです。(ヒロ)